

ともしび保育園



2021年7月1日 発行



コロナとともに迎える二度目の夏



7月です。西日本が5月に梅雨入りしたので長梅雨かと思っていましたが、結局関東地方は平年並みに落ち着いて、いつものようにじめじめした季節がやってきました。今年の夏はコロナとともに迎える2度目の夏です。昨年は4、5月の臨時休園の直後で、感染拡大防止策を講じつつ、新しい生活様式を取り入れた保育園運営をするため、職員一同日々試行錯誤していたことを思い出します。あれから1年。未だ収束とまではいきませんが、世界的にワクチン接種が始まり、この問題が解決へ向け一歩前進したことが感じられるようになりました。この比較的短かい期間に、ワクチンの開発と実用化に成功した世界中の研究者の皆さんの熱意と技術力に対して、私は心から感謝せずにはられません。



7月7日は七夕です。日本ではちょうど梅雨時ということもあり、天の川を挟んだ織姫（こと座のベガ）と彦星（わし座のアルタイル）の二つの星を観ることが出来る確率は低いように感じますが、さて今年はどうなるでしょうか。

星と言えば5月26日に日本で皆既月食が見られましたね。残念ながら東京では雲に隠れて月を見ることは出来ませんでした。我が家では居間の電気を消して、テレビにYouTubeのライブ映像を映しながら、家族でお月見の気分を味わいました。



「お月様きれいだね」「全部消えちゃったよ！」など、子どもたちも東の間の天体ショーを楽しんでいたようでした。11月19日には全国で部分月食を観ることが出来るようですので、時には夜空を見上げて、星の輝きに想いを馳せてみるのも良いのではないのでしょうか。

園長 山田 英

夕涼み会を中止とさせていただきますが、カンガルーの会の皆様から子どもたちに対して、七夕の笹と短冊、工作用の無地のうちわをプレゼントしていただきました。誠にありがとうございました。